

# 紫野



2019 Vol.11

びわこ学院大学 広報誌  
びわこ学院大学短期大学部

発行 令和元年10月

## 【巻頭挨拶】

学校法人 滋賀学園

理事長 森 美和子

びわこ学院大学・

びわこ学院大学短期大学部

学 長 賀川 昌明

## 【掲載目次】

《特集》2019世界パラジュニア陸上競技選手権大会日本代表 村地 志麻選手 インタビュー／近況報告／注目ゼミ／卒業生状況／注目クラブ／学外実習／教員紹介／地域連携／大学News





学校法人 滋賀学園  
理事長 森 美和子

仲秋の候、皆様にはご清祥にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、本年5月1日、平成に代わる元号が「令和」に決まりました。これは奈良時代に完成した日本に現存する最古の歌集「万葉集」を典拠とされました。日本で記された国書を典拠とする元号は、今回が初めてとされています。令和は248番目となる元号。「令」の字が使われるのは初めてで、「和」は20回目と言われています。引用されたのは梅の花の歌の序文

「初春の令月にして、気淑く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」（書き下ろし文）

歌人、大伴旅人が、大宰府長官時代に宴会を開いたときに作られたものです。

今回私がこの新元号「令和」について記しましたのには、三つの理由があります。

一つ目は、当学園のキャンパスは、万葉集「茜さす紫野行き標野ゆき、野守りは見ずや君が袖振る。」額田王と大海人皇子の相聞歌が交わされた「万葉の里」に立地していること。

二つ目は、系列校の滋賀学園高等学校の校章は創設時より、私の母校の校祖新島襄先生のお言葉「真理は寒梅の如し、敢て風雪を侵して開く」から「梅の花」をモチーフにしていること。それは厳しい寒さの後に見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりの若人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせていただきたいというそんな思いをこの校章に込めました。

三つ目は、私の座右の銘「和をもって貴しと為す」です。

ご案内のとおり、何事も仲良く争わず協調し合うことは、何よりも尊いことであるという意味です。この三つのことからは、本学園にとって、大きな力を与えてくれたように思います。

早いもので平成2年に開学した短大は30年目を、平成21年に開学した大学は11年目を迎えました。

こうして歩みを続けられるのは、多くの皆様の温かいご指導、ご支援のおかげと深く感謝申し上げます。「令和」の時代も地域に根差した大学であり続けられますよう、教職員一同、努力してまいりますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

最後になりましたが、令和の時代も皆様健康で素晴らしい日々を送られますよう祈念しまして、ご挨拶といたします。



びわこ学院大学  
びわこ学院大学短期大学部  
学長 賀川 昌明

令和という新元号の下、本学はこれまでの実績を基盤としつつ、新たな取り組みを展開しています。

まず、短期大学部ライフデザイン学科においては、昨年度初めて卒業生を送り出した「児童学コース」が順調な滑り出しを示し、県内保育施設等に数多くの就職を果たしました。そしてその成果も相まって、今年度も入学定員を上回る新入生を確保することができました。一方、様々な要因で苦戦していた「介護福祉コース」においては、「介護」という言葉から連想される負のイメージから脱却するため、次年度からは「健康福祉コース」に改称する方向で検討を進めています。四大の「教育福祉学部」では、昨年度の本誌でもご紹介したように、中学校（保健体育教諭、養護教諭）・小学校・特別支援学校・幼稚園・保育園等、数多くの教育関係機関をはじめ、一般企業等への就職を実現することができました。

これらの成果を今後も維持・発展させるため、今年度から新たに「びわ学キャリア塾」という進路・就職支援システムを構築いたしました。この「びわ学キャリア塾」は、様々な進路希望を持つ学生に対応するため、四大・短大を超えた総合的な支援を主たる目的にしています。そしてその内容は、本学学生の多くが目指す職場に対応する形で「教師塾」「福祉塾」「仕事塾」に分かれます。「教師塾」は主に小・中・特別支援学校の教員を目指す者、「福祉塾」は主に幼稚園教員や保育園・介護施設等の職員を目指す者、そして「仕事塾」は前記以外の公務員や一般企業等への就職を目指す者が対象になります。

これらの塾は各学科コースで開設されている授業とは別枠で実施されますが、学生の負担をできるだけ軽くするため、その実施時間を原則として授業日の空き時間に設けることにしています。また、その実施に当たっては、進路・就職支援課の職員と各学科・コース所属教員とが協力し、それぞれの専門性を活かすことにしています。無論、これらの計画を実行するに当たっては、担当の教職員にかなりの負担を強いることとなりますが、学生の夢と希望とを実現するため、教職員一丸となって努力する所存です。

以上、今年度の主な取り組みを進路・就職支援に絞って紹介いたしました。皆様方には今までのご支援に対して心から感謝申し上げますとともに、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019世界パラジュニア陸上競技選手権大会日本代表 村地<sup>もとま</sup>志麻選手 インタビュー



2019年6月、第30回日本パラ陸上競技選手権大会が、大阪市長居陸上競技場（ヤンマースタジアム長居）で開催されました。男子200m・400m（T37<sup>\*1</sup>）に出場した村地 志麻選手（教育福祉学部スポーツ教育学科1年生）は、400mで1分2秒41のタイムで優勝。優勝タイムが強化育成指定標準記録を突破したため、8月にノットウィル（スイス）で開催された、世界パラジュニア陸上競技選手権大会に日本代表として出場しました。

東京パラリンピック2020が来年に迫る中、大会を終えた村地選手に、陸上との出会いや、これからの挑戦について話を聞きました。

※1 パラ陸上におけるクラス…片麻痺で歩行または走行が可能な立位競技者

・世界大会、お疲れ様でした。成績はいかがでしたか？

専門は400mですが、この大会では当該種目が無いため、100m・200mに出場しました。両種目とも19～20人中12位という結果でした。200mでは自己ベストの記録を出すことができました。

・慣れない環境下での記録更新！

時差も大きく、食事環境も大きく変わりました。レース当日はとても緊張しましたが、自己ベストを更新することができました。大学に入って数か月で記録が伸びています。

・記録更新の要因？

大学入学後、専門の400mでは0.8秒～0.9秒タイムを縮めています。週5回程度練習していますが、布引陸上競技場では実際にスパイクを履いて練習できるので、この環境は本当に有り難いです。

高校時代はスパイクを履いて練習できる機会は限られていたので、スパイク慣れが記録更新に影響していると思っています。

・陸上を始めた時期と理由は？

高校1年生です。中学時代は、卓球とCPサッカー（脳性まひ者7人制サッカー）に取り組んでいました。CPサッカーの日本代表としてヨーロッパに遠征したこともありますが、CPサッカーが2020パラリンピックの対象種目から外れることになったため、陸上への挑戦を決めました。

母親が陸上経験者で弟も陸上部に所属していたので、家族も応援してくれました。



・普段の練習について教えてください。

高校時代から週5回程度の練習を基本としています。高校3年時、周囲は夏前に部活を引退しますが、自分は将来を見据え、卒業時まで活動していました。自分の走りは後半追い込みタイプでスタートダッシュに課題があるので、今はスタート練習に力を入れています。

また、強化育成指定選手になってからは、食事メニューにも気をつかうようになりました。

・練習や試合を通じて、上手いかわりに意識していることはありますか？

自分の考えをしっかりと持って、周囲に流されないことを心掛けています。色々なアドバイスをいただきますが全て聞き入れるのではなく、自分にしかわからない感覚があるので、その感覚を大切にしています。

・今の目標や2020東京パラリンピックへの思いを聞かせてください。

400mで1分を切り、日本記録を更新することが目標です。また、陸上を始めたきっかけが2020パラリンピックでした。来年5月頃までの記録で参加可否が決まるので、出場を目指して挑戦を続けたいと思っています。



## 子ども学科

学科長（教授） 平松 恵子

子ども学科ではカリキュラムを見直す中で、学科基幹科目として1年次に「子ども学基礎演習Ⅰ」、2年次に「子ども学基礎演習Ⅱ」を創設しました。

創設した理由は、子ども学科の一大イベント「わくわくフェスタ」に取り組む十分な時間の確保とクラス活動並びに学年活動の推進と充実を図るためです。「基礎演習Ⅰ」の到達目標は①2年生と合同のわくわくフェスタの取り組みを通して、他者と協働しながら子どもへの関心を高め、子どもと関わる基礎的知識を理解できる。②他者との意見交換をとおして社会への関心を高め、卒業研究の基礎を理解することができる。③様々な角度から問題を見る目を養うことができる。とし、「基礎演習Ⅱ」の到達目標は①わくわくフェスタの成功に向けてクラス内の結束力を高め、1年生と共に取り組む活動を通して子ども理解を深め技能を高めることができる。②話し合いや発表することを通して、自己理解や他者理解を進め、表現力を身に付けることができる。③ゼミ選択や実習体験に向けて学びの方法を修得し、子どもの前で活動できる自信を身に付けることができる。としました。

これまでは「わくわくフェスタ」に充てる時間が保証されておらず、やむなく「スタディ・スキルズ」や「キャリア・デザイン」の授業の一部を「わくわくフェスタ」の取組に回す等、やりくりして対応せざるをえない状況でした。そのため、授業の内部質保証の点からも打開策を考える必要がありました。

昨年までは、学生達は大学祭の前日になっても「わくわくフェスタ」の準備に翻弄されていました。

しかし、今年度からは計画的に「わくわくフェスタ」「クラス活動」「学年活動」に取り組めるようになったことからクラス単位、学年単位、1.2年合同での授業において工夫を凝らしたものが展開されるようになりました。子ども学科の今後にご期待ください。



「子ども学基礎演習Ⅰ」での「クラス対抗ミニ運動会」



「子ども学基礎演習Ⅰ,Ⅱ合同」での「アイスレーキング」

## スポーツ教育学科

学科長（教授） 村山 勤治

スポーツ教育学科では、本年3月に藤井茂樹教授（前学科長）、鈴木敦史准教授のお2人がご退職されました。その後任として4月より小西喜朗教授（発達障害と教育課程等）、和田充弘准教授（教育学概論等）がご着任されました。2期生の21名が無事に卒業し、目指していた教職や一般企業へ就職しました。特に教職関係では、滋賀県中学校保健体育教諭と横浜市特別支援学校教諭にそれぞれ現役合格しました。新入生は45名に2年生編入1名を加え、46名が入学しました。



学修活動では、恒例の大学周辺の名所旧跡を巡る新入生オリエンテーリングから新入生とともに学科の全員がグループに分かれ実施しました。この活動は、今後の本学科での学びに役立てられるよう地域を知ることや学生間の交流を深めるために有意義なものになっています。また、その後の学年別の活動では、地域（能登川南小、奥永源寺等）や対象者（小学生、高齢者等）を変え、学内において何度も内容の見直しや計画の練り直しを行い、自らが企画した運動プログラムの運営を通して実践力を高めています。



課外活動では、陸上部所属の村地志麻君（1年）が8月にスイスでの世界パラジュニア陸上競技選手権大会に、カヌー競技では、押谷亮君（1年）が10月に中国・紹興市でのカヌーマラソン世界選手権大会にそれぞれ日本代表として出場しています。また、駅伝部は昨年の関西駅伝第80回丹後大学駅伝で5位に入賞し、11月の81回大会での活躍が期待されています。さらに、サッカー部、軟式野球サークルが創設され、若い力で頑張っています。

最後に、今年度から、本学で関西初となる公認体育施設管理士資格が取得できるようになりました。



### ライフデザイン学科

学科長（教授） 丸山 俊明

ライフデザイン学科キャリアデザインコースと介護福祉コースの学生有志が、美しい8月の近江八幡市のまちなみで、観光客おもてなしイベント「めしませ、近江の姫むすび」を実施、大変好評をえました。そして9月、おなじテーマで滋賀6大学の学生がアイデアを競うアイデアコンテストに参加。院生もまじる四大生と真っ向勝負し、見事グランプリ！を獲得しました。10月には大津の知事公舎で、三日月知事様へプレゼンさせていただきます。本学らしい発表が期待されるところです。



### 児童学コース

講師 杉本 栄子

児童学コースは、2017年4月に開設され、2019年3月に第一期卒業生をおくり出しました。「幼稚園教諭免許」「保育士資格」を取得して、幼児教育・保育現場で活躍できる人材育成を念頭に指導にあたっております。

一期生の就職率は100%で、保育園・幼稚園・認定こども園に正規合格が76%、福祉施設正規合格が24%で、現場で活躍しているたくましい姿に感激しております。

今後も教員一丸となって学生の教育にあたる所存です。



### 介護福祉コース

准教授 山 和美

2年生は、最後の介護実習が夏休みに終了すると就職活動が始まります。今年度も地元、東近江市障害福祉課・長寿福祉課のご協力を得て、「就活生のための合同説明会」を開催しました。各事業所さんのプレゼンテーションの後、ブースに分かれて詳しい説明を聞いたり、質問したりして、就職活動に活かせる時間になりました。市役所の皆様、各事業所の皆様お世話になりました。このような大学が京滋で本学だけとなる中、高齢化社会を支える貴重な人材の輩出を念頭に、教員・学生共々頑張っています。



### キャリアデザインコース

教授 長嶺 共全

今年度4月キャリアデザインコースは、皆様のご協力があり、県内外の高校より多くの新生を迎えることができました。有難うございます。また、6月中旬には東近江市役所のご厚意により市役所を訪問・見学させていただき、将来を考えるうえで学生には大変良い勉強になりました（写真）。そして、7月には日本語ワープロ検定試験などの学内検定試験が実施され、キャリアデザインコースの多くの学生が普段の学びの成果を存分に発揮していました。これからも学生と共に頑張っていきたいと思います。



## 『わくわくサイエンス』で科学のおもしろさを

准教授 箱家 勝規

『みなさんこんにちは。私たちは“びわこ学院大学”からやって来ました。今日は、みなさんと一緒に楽しく実験をしたいと思います…。』

大津市科学館のサイエンステーブルに学生の声が響きました。子どもたちはこれから何が始まるのかと目を輝かせて待っています。学生たちの緊張感は最高潮に達しようとしています。

毎週土、日曜日に大津市科学館で開催される『わくわくサイエンス』は、いつも多くの親子で賑わっています。3、4年生のゼミ生は月1回、子ども達を楽しませるこの科学実験やものづくりに講師として参加しています。

ここでは子ども達を単に楽しませるだけでなく、大人にも科学への驚きや感動を与えられることを大事にしています。そのためにはテーマ、内容、構成をしっかりと事前に準備しなければいけません。学生にとっては難しい課題ですが、毎回、斬新な実験を時間をかけて準備し、リハーサルに臨んでくれています。そのため子どもよりも大人が感動の声を上げる場面も見られます。

本番はたった20分間ですが、学生たちが子どもたちの前で目を引く実験の演示をしたり、惹きつけるような言葉がけをしたり、子ども達用の実験材料をより工夫してつくったりして、科学のおもしろさを伝えようとする学生の意欲は目を見張るものがあります。子どもたちから「えーすごい」「やったー」の歓声が忘れられないからこそ毎回のよう



これからも子ども達や大人に、もっと科学のおもしろさや感動を与えられるように内容を充実させていきたいと思っています。

## 近江鉄道活性化の取り組みを通じて

教授 パン ジュイン

私が代表を務める「びわこ学院大学地域調査プロジェクトチーム」は、2017年春に私のゼミ生を中心に学生有志が結成しました。鉄道サークルではなく、ゼミの研究テーマ、教育・研究の一貫として活動を開始。最初に手がけたのは「近江鉄道の活用による地域活性化の研究」プロジェクトでした。

東近江市内には近江鉄道の駅が13あり、地域住民の大切な足となっていますが、近年、利用客が減少し、路線縮小・廃止などのニュースが聞こえるようになりました。「どうすれば近江鉄道の存続が安定し、沿線地域の活性化につながるのだろうか？」この切実な問いに答えるために、これまで学生とともに近江鉄道が抱える様々な問題を調査し、地域活性化の道を模索し続けてきました。大規模なアンケート調査実施やフィールドワークを通じて住民の声をまとめ、2018年度には、「日本地域鉄道活性化フォーラム」、「環びわ湖大学・地域コンソーシアム」などの舞台で発表。今夏には、びわこ京阪奈（仮称）鉄道建設期成同盟会総会において、「近江鉄道・信楽高原鉄道沿線 盛り上げ活動表彰」を受賞しました。



近江鉄道活性化の取り組みは多くの人々の共感を呼び、愛好家の方や行政関係者（東近江市・滋賀県）とも連携しながら活動の輪を広げています。

沿線の美を集めた写真展「近江鉄道十三景in東近江」は太郎坊宮他7ヶ所で開催、行政や近江鉄道と連携し、東近江市内の小学校に出向いて、公共交通学習を行う取り組みも行っています。

また、プロジェクトチームでは、大正12年に製造された国内最古級の電気機関車ED314の保存活用費用を捻出するために、クラウドファンディングを実施しています。電気機関車には日本の近代産業遺産としての価値があるため、保存に成功すれば観光資源として地域活性化に貢献できると考えています。

地域調査プロジェクトを通じ、成長を続ける学生達をとて頼もしく見えています。



## 引き続き好調な就職状況 2019(平成31)年3月卒業者の 進路決定状況等について

進路・就職支援センター

今春卒業しました卒業生の進路結果についてご報告します。景気が安定し、売り手市場と言われている中ではありますが、大学教育福祉学部子ども学科、スポーツ教育学科では、就職を希望する学生全員が、短期大学部ライフデザイン学科では、家事手伝いの1名の他は全員が就職することができました。

7期生となります子ども学科では、公立小学校に9名、公立学校養護教諭に3名、公立の幼稚園・こども園・保育所に10名、私立保育所に10名が正規採用されました。また、8名が公立学校・園に臨時採用されました。その他に、児童・障害者などの福祉施設に8名、一般企業に15名が就職しました。子ども学科の就職者の76%が教育・保育・福祉関係に就職したことになります。

2回目の卒業生を出しましたスポーツ教育学科では、中学校保健体育教諭1名、特別支援学校教諭1名が正式採用され、1名が特別支援学校に臨時採用されました。その他に、東近江市地域振興事業団に1名、一般企業に15名が就職しました。

教育福祉学部全体の教員採用は、現役生が合計で14名、過年度生の9名と併せて、この春に23名が正規合格しました。

短期大学部ライフデザイン学科の就職希望者におきましても、介護福祉コースの介護福祉士国家試験の合格率は、全国平均を上回る79%で、ほとんどの学生が専門性を生かしケアワーカーとして、県内を中心に介護老人福祉施設や介護老人保健施設等の福祉関係に就職しました。キャリアデザインコースでも1名が警察事務に正規採用されるなど、取得資格を生かして、事務、販売、生産工程、サービス等希望の職種に就職しました。

昨年度末、初めて卒業生を出しました児童学コースでも、1名が公立園に合格するなど、76%が幼稚園教諭・保育士として就職しました。

今年度も6月1日から各企業の採用選考がスタートしており、多くの学生が内定をもらっております。今後も学生の進路実現に向けて一層の力を注いでまいります。

## 2019(平成31)年3月卒業者の 教員免許・資格取得状況等について

教務課

### 【教育福祉学部】

学 科	子 ども		スポーツ 教育	計
	子ども教育	子ども福祉		
卒 業 者	30	33	21	84
小学校教諭	16			16
幼稚園教諭	5	25		30
養護教諭	6	2		8
中学・高校教諭 (保健体育)			5	5
特別支援学校教諭 (知・肢・病)	4		2	6
保育士資格	4	27		31
社会福祉士		1		1

- 子ども学科卒業生63名中、いずれかの免許・資格を取得した学生は53名(84.1%)で、その内2種類以上の複数免許・資格取得者は35名(55.6%)である。(内、3名が3種類の免許・資格を取得した。)
- 社会福祉士国家試験の受験資格充足者が2名おり、内1名が国家試験に合格した。
- スポーツ教育学科 卒業生21名中、いずれかの免許を取得した学生は5名(23.8%)で、その内2名が中学、高校、特別支援の3種類の免許を取得した。

### 【短期大学部ライフデザイン学科】

コース	児童学	介護福祉	キャリア デザイン	計
卒 業 者	17	28	16	61
幼稚園教諭	14			14
保育士資格	15			15
介護福祉士		22 ※		22
情報処理士			10	10
実践キャリア実務士			9	9

※介護福祉士の国家試験義務化が2018(平成30)年3月卒業生より適用されている。介護福祉コース卒業生28名の内、国家試験合格者が22名(合格率78.6%)である。(2022(令和4)年3月卒業生までは、国家試験に不合格であっても、5年間連続して勤務することで資格取得が可能である。)



## 関西学生サッカーリーグ加盟をめざして

監督 時岡 宏昌

今年4月に創部したサッカー部は、次年度からの「関西学生サッカーリーグ」加盟をめざして、週3～4日程度の練習と練習試合をベースに活動を行っています。授業等の関係で少人数での練習が中心になりますが、止める・蹴るといった基本的な技術の習得に力を入れて取り組んでいます。まだまだ技術的にもフィジカル的にも未熟なチームですが、周囲の皆様から「サッカー部がんばってるな」と感じてもらえるチーム作りをしていきたいと考えています。応援よろしくお祈りします。



## 吹奏楽部が誕生します！

コーチ（予定） 原 結歌

滋賀県内には吹奏楽部を持つ大学が少なく、高校卒業後は、続けたくても続けられないという声も多くある中、管楽器から打楽器まですべての楽器を新調し、2020年春より吹奏楽部がスタートします。系列校である滋賀学園中学・高等学校吹奏楽部顧問の指導のもと、大学祭や地域での演奏から始め、定期演奏会の開催や吹奏楽コンクールへの出場を目指します。子どもたちや地域の皆さんに音楽の楽しさを伝えられるような部になるよう、練習に励みたいと思います。



## 軟式野球サークルの新設について

顧問 渡辺 雅幸

2019年より、本学におきまして軟式野球サークルが新設されることになりました。現在1・2年生を中心に活動しており、勉強のかたわら、本学に併設されたグラウンドで日々練習に励んでおります。

また、8月からは京滋大学軟式野球連盟による秋季リーグにも参加し、結成わずか1年目ながらも奮闘を続けております。まだまだ活動を始めたばかりではございますが、今後ともご支援ご声援のほど、何卒よろしくお祈りいたします。

2019年度 部・サークル一覧

NO	団体名	部員数
1	陸上競技部	27
2	駅伝部	25
3	和太鼓部	17
4	男女バスケットボール部	22
5	サッカー部	15
6	ダンスサークル	16
7	ソフトテニスサークル	11
8	バドミントンサークル	12
9	バレーボールサークル	12
10	卓球サークル	9
11	スポーツサークル	8
12	カバディサークル	5
13	フィギュアスケートサークル	5
14	吹奏楽サークル	19
15	軽音楽サークル	17
16	広報・ボランティアサークル	68
17	子どもボランティアサークルくれよん	15
18	競技かるたサークル	9
19	軟式野球サークル	18
20	合唱サークル	11
21	弓道サークル	5
22	3×3サークル	7
23	写真サークル	9
24	フットサルサークル	12

## 学外実習の状況等について

実習・実践支援課 重森 恵津子

(本学における実習参加者の3か年の実績)

### 【教育福祉学部】

実 習	2017年度	2018年度	2019年度
保育実習Ⅰ(施設)	34	28	29
保育実習Ⅰ(保育所)	32	30	26
保育実習Ⅱ(保育所)	23	25	18
保育実習Ⅲ(施設)	10	7	10
初等教育実習(幼稚園)	34	31	25
上級初等教育実習(幼稚園)	11	1	4
初等教育実習(小学校)	15	16	12
上級初等教育実習(小学校)	1	0	1
教育実習(中・高保健体育)	4	4	0
介護等体験(施設・特別支援学校)	21	20	16
教育実習(特別支援学校)	6	6	5
養護実習	9	13	16
看護臨床実習	10	14	13
社会福祉援助技術実習Ⅰ	2	4	6
社会福祉援助技術実習Ⅱ	2	2	4

### 【短期大学部ライフデザイン学科】

実 習	2017年度	2018年度	2019年度
介護実習Ⅰ	29	23	14
介護実習Ⅱ	29	23	14
介護実習Ⅲ	29	29	18
介護実習Ⅳ	29	29	21
保育実習Ⅰ(施設)	16	33	33
保育実習Ⅰ(保育所)	—	16	31
保育実習Ⅱ(保育所)	—	16	31
教育実習(幼稚園)	—	14	32

本学の学生の多くは、教員免許<小学校、中学・高等学校(保健体育)、特別支援学校、幼稚園、養護>や保育士資格取得、介護福祉士や社会福祉士の受験資格取得に向けて熱心に学業に取り組んでいます。こうした免許や資格を取得するためには、指定された学校や施設・病院等での一定期間の実習が義務付けられています。本学における過去3か年の実習参加者は上の表のとおりで、今年度は延べ380名程度の学生が参加しています。



保育実習Ⅱの様子

それでは、なぜ実習は必要なのでしょうか。それらの職に共通することは、必ず「人」と関わることです。大切な「命」を預かる職であると言っても過言ではないと思います。大学での講義だけでは学ぶことのできない、「人」の、子どもたちや利用者の方々のあるがままの反応を、実習を通して体感・実感することができます。また、現場の先生や指導者の方の子どもや利用者への適切な指導や対応を見て、学ぶだけでなく、保護者や外部の方への接し方などの優れた実践に触れることもできます。学生はこうした実体験を通して、自分の強みや弱みを知り、そこで明確になった自分自身の課題を克服するために、いっそう努力し、自分の夢を実現しようと思いを新たにできる機会にもなるからです。

それぞれの実習に参加した学生たちは、大きく成長して大学に戻ってきてくれます。その一人ひとりが、学内では学ぶことのできない貴重な体験をし、何かを感じ取ったからだと思われます。



子ども学科・実習報告会の様子

このような貴重な体験を、学生一人のものにとどめるのではなく、これから実習に参加しようとする後輩などを対象に「実習報告会」を実施し、体験者からの発表を聞く機会を設けています。各実習の代表は、うれしかったこと、困ったこと、ああすればよかったと反省することなど、自分自身の実習を通して、特に伝えたいことを端的にまとめ、多くの学生を前にして、自信をもって発表してくれます。

また、本学では実習の教育効果を高め、より良いものとしていくために、実習生の受け入れ先である学校・園や、実習を所管する県、長浜市および地元東近江市の関係機関の皆様をお招きして、指導のあり方等に関する意見交換の場である「実習連絡協議会」を開催しています。その場で学生代表の発表をお聞きになった参加者の皆様は、本学の学生のすばらしさを口々に語られました。あわせて、実習への協力体制もより確かなものとなったと思われます。

学生の皆さん、実習の目的や意義を十分に理解し、実り多い実習となるように、また、自分自身の将来の夢を実現できるように、一緒に頑張りましょう。

①平松 恵子 (学部長・学科長・教授)

- ②養護学、学校保健学、健康教育
- ③養護概説Ⅰ、養護概説Ⅱ、教職実践演習(養護)
- ④ノートルダム清心学園理事長だった渡辺和子先生といえど200万部のベストセラー「置かれた場所で咲きなさい」の名著等数々の本や名言集が残されていますが、その中で特に好きな言葉です。



\*幸せはあなたの心が決める\*

①岩崎 信子 (教授)

- ②健康教育、学校保健
- ③学校保健論、健康相談論等
- ④2年生のクラスや3年4年生のゼミ生と「養護教諭に必要な力」について、楽しく学んでいます。時には厳しい指導をすることもあります。これも現場に出て困らないように考えてのこと…。また、地域の養護教諭や市教育委員会の指導主事の先生方と学生がともに学び、互に資質向上をめざすことを目的とした研修会等も開催しています。皆さんに「養護教諭のことならびわ学へ」と認識していただけるよう、今後も様々なことに取組んでいきたいと考えています。



①奥田 愛子 (教授)

- ②スポーツ心理学・身体教育学
- ③子どもと健康、身体表現、子どもと運動
- ④今年度から幼保実習担当となりました。小学校実習担当の頃と同じように、実習に関するイロハを勉強する毎日です。私の転向について、在學生は目を丸くしていますが、それ以上に卒業生の皆さんの驚く顔が想像されます。でも、ご安心ください！学生指導における『女帝』ぶりは健在ですから(笑)。卒業生の皆さん、時おり母校を思い出してくださいね。



①烏野 猛 (教授)

- ②社会保障法、危機管理論
- ③社会保障論、日本国憲法 等
- ④この夏は、西日本を中心とした大規模災害で、防災についての感覚が変わったのではないのでしょうか？非常時の「非」がとれ、常時、この時期にいつも来襲するもの、という発想が求められているように思えてなりません。これからも、防災含めた危機管理の研究を進めていきたいと思っています。



①近藤 文里 (教授)

- ②教育心理学、教育相談論、障害児心理学
- ③学校教育心理学、教育相談論、東近江の地域学
- ④外部連携研究センター長の仕事をしています。センターで現在行っている仕事を見てみると、多過ぎるところがあり、これからは整理していく必要性を感じています。また、本学の専任教員の方々にはセンターからいろいろな仕事を依頼することが多いのですが、先生方の研究時間の確保という点から配慮すべき課題があると考えています。



①新屋 久幸 (教授)

- ②医学一般、医学・養護・介護教育
- ③医学概論、解剖生理学、こころとからだのしくみの基礎A
- ④「おもしろ、おかしく、生涯現役」を目指しています。子どもから終活、予防医学から先端～緩和医療、個人から地域まで幅広い健康増進、ヘルスケアの実践を模索中。働き方改革、登山医学、スポーツ医学の実践実習もかね、トレッキング～登山、ランニングを趣味としています。登山は綿向山、伊吹山から南・北アルプス、海外まで。ランニングはマラソンに挑戦。タイム的にはまだまだこれから、伸びしろありと思っています。好奇心を忘れずに、学生とともに、みなさまとともに、一步一步学び、歩み、登っていきたくと思っています。



①内藤 紀代子 (教授)

- ②育成期看護学、ウィメンズヘルス、保健衛生学、思春期教育など
- ③基礎看護学、看護技術演習、救急医学論、救急処置法
- ④現在、東近江市をはじめ滋賀県下で、「プレコンセプションケアの東近江市天秤プロジェクト」や「若者の生きる力を育む教育者育成事業」を実施しています。本学の学生が中心となり地域の若者に教育活動を行っています。これからも学生と共に、人にやさしく地域に貢献できる活動に取り組むよう励んでまいります。



①パン ジュイン (教授)

- ②社会人類学、映像人類学
- ③国際文化論、地域社会学、コミュニケーション中国語
- ④現在「びわ学地域調査プロジェクトチーム」を結成し、学生と一緒に東近江市内にある13の近江鉄道駅をフィールドワーク調査し、地域の歴史的・文化的資源を掘り起こす作業を通して、近江鉄道を利用した地域の活性化について模索しています。



①片山 弘紀 (准教授)

- ②高齢者福祉、対人援助技術、エンカウンター
- ③社会福祉援助技術論
- ④対人援助について関心を持ち、とりわけ、自己理解や他者理解を深めるために必要なトレーニングとは何かを研究しております。また、在學生や卒業生などに対するエンカウンター活動に取り組み日々、傾聴について探究をしています。趣味は、もともと茶道に興味があった関係で京都や奈良の庭園や茶室など見てまわったり、寺社仏閣を訪ね歩いたりするのが好きです。また、訪れるところの名物を調べ、それを味わうのも楽しみになっています。これからもよろしく願いいたします。



①箱家 勝規 (准教授)

- ②理科教育、生徒指導、ものづくり教育
- ③教科教育法(理科)、生徒指導論、特別活動論
- ④大津市科学館において「科学実験」や「ものづくり体験」をゼミ生が定期的に開催しています。準備やリハーサルには時間がかかりますが、これが学生には大切だと思っています。当日、子どもたちの前で自信を持って臨めるからです。参加した子どもたちが目を丸くして興味深くてぞき込んだり、笑顔いっぱいになる姿は、学生にとって大きな喜びです。科学の不思議、おもしろさを子どもたちに、これからも学生と一緒に伝えていきたいです。



① 深田 直宏 (准教授)

② 体育科教育学、スポーツ教育学

③ 教科教育法体育、体育実技

④ 主に学習指導要領に示された体育科の指導内容の適切性について研究を進めています。また、それと同時に、小学校現場で体育指導が苦手な先生が利用できる体育授業プログラムの開発も進めています。地域の先生方に活用して頂けるような取り組みをしていきたいと思っています。また、本学の学生は、学年が上がるに従い立派に成長していると感じました。そんな学生さんたちが、希望の進路に進めるようになりサポートしていきたいと思っています。



① 山成 昭世 (准教授)

② 美術教育、彫塑

③ 教科教育 (図画工作)、子どもと図画工作、子どもと表現

④ 日常生活の中で美しいものや胸躍ることがキャッチできるようにアンテナを張り巡らし暮らすように心がけています。毎日の服装の色、生活空間にある物の形、四季の移ろいを感じる皮膚感覚。感性豊かに生きることは人生必須のビタミン剤だと思います。感じる心を育むために造形教育は一つだと思いますが、自分自身を振り返ると周りに褒めてくれたり、気づかせてくれたり、共感してくれる大人がたくさんいました。幼い頃から絵に表したり、形に表したりすることが大好きで、得意なことを仕事にできたことは幸せです。



① 内山 育子 (講師)

② 大人の音痴矯正

③ 子どもと音楽・子どもと表現

④ 歌を聴いてもらうことで、少しでも元気になってもらえるように、また音楽に興味をもってもらえるように演奏活動を継続しています。小学校での音楽鑑賞公演も行っております。(歌手の特権は子ども達のキラキラした顔を見ながら歌えることですね。) また、ゼミ、サークルを引き連れ押し売り!? コンサートも実施しております。ご興味のある方はご遠慮なくご依頼ください。人の前で発表することは、学生にとってとても大きな糧を得ることになります。そして多くの人の笑顔を引き出してくれます。心の栄養にいかがですか。



① 榎本 祐子 (講師) **新任**

② 子ども家庭福祉、子育て支援コーディネーター

③ 子ども福祉学概論、家族援助論、子ども家庭支援の心理学

④ 地域子ども・子育て支援事業のひとつである、利用者支援事業の研究をしています。この事業は子育てをしている親を対象に、援助者が利用者と一緒に現在の生活を取り巻く状況を整理し、これを踏まえ必要なサービスにつなぐなどして生活がうまくいくように支援するものです。学生も同じように様々な悩みを抱え、何かうまくいかなくてどうしたらいいかわからないという状況に直面している姿があります。最終的に決めるのは本人ですが、彼ら1人ひとり最善の選択をできるようにサポートしたいと考えています。



① 川副 知佐 (講師)

② 幼児教育、保育学

③ 幼児理解論、保育内容総論など幼保実習関係科目

④ 卒業生が元氣な姿を見せてくれることに嬉しさを味わう5年目になりました。子どもと関わる仕事の楽しさと厳しさが学生の皆さん方に伝わるといいなと思っています。社会の変化により幼児教育が大きく変わっていくとする時期、「子どもの育ち」を様々な側面からみていく必要性と幼児教育のこれからの「可能性」に興味があります。子どもは「今を存分に生き、未来へと繋ぐ力を持つ存在であること」を改めて感じています。



## 東近江市学校体育元氣アップ事業

～体育授業で教室を活性化してみませんか?～  
(東近江市教育委員会・びわこ学院大学連携事業)

東近江市教育委員会・びわこ学院大学連携事業

**東近江市 学校体育元氣アップ事業**

～体育授業で教室を活性化してみませんか?～

— 事業の概要 —

びわこ学院大学は、地域に貢献する大学をめざしています。本事業はその一環として、東近江市教育委員会と連携を促し、市内小学校・中学校における体育授業の充実・改善、及び、体育的活動に関する支援を行っているものです。

H30年度全国体力・運動能力運動習慣等調査結果では、滋賀県の小学5年生の体力得点は、立ち幅踏みを除き、ほとんどの項目で全国平均を下回っています。さらに「体育・保健体育の授業が楽しい」と答える児童生徒の割合が、小学校、中学校ともに、全国平均に比べ低い傾向にあります。

体力は「生きる力」の核として重要な要素(文部科学省)です。また、これまでの研究から、運動やスポーツ経験の減少が、脳や心の発達、社会性に影響を及ぼすという報告も見られます。

そこで本事業では、主に以下の支援を行います。

- ① 体育授業充実・改善に関わる支援及び情報提供等
- ② ICTを活用した授業の進め方に関する情報提供等
- ③ 体育授業に関わる校内研修の設定等
- ④ 体力向上に関わる短時間運動プログラムの情報提供等

講師紹介 ～私たちがお手伝いします～

<p>【小学校担当】</p> <p>びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科 准教授 深田 直宏</p> <p>1965年群馬県生まれ。群馬大学大学院教育学研究科修士(教育学)、准教授、立命館大学元一ツ瀬短期大学初等教育実践研究センター、群馬大学の小学校2年級担任経験。読書、読劇、専門はスポーツ指導学、体育教育概論学。</p> <p>・滋賀県での元氣アップ事業 協力者 ・東近江市・中学校体育向上プロジェクト推進委員</p>	<p>【中学校担当】</p> <p>びわこ学院大学 教育福祉学部 元二つ教員学科 助教 川口 謙</p> <p>1991年長崎県生まれ。広島大学教育学研究科修士課程修了。修士(教育学)、助教、准博士課程修了。現在、大学院修士に在り。高等学校で体育科の非常勤講師として4年間勤務。専門は体育科教育と部活動指導学。</p> <p>・滋賀県での元氣アップ事業 協力者</p>
---	--

① 白銀 研五 (講師)

② 比較教育学

③ 教育課程総論、教育方法・技術論

④ 海外の教育制度について主に特別な教育的ニーズをもつ子どもに焦点をあてて研究を行っています。研究上の主な関心は社会的包摂です。差別や偏見、貧困等を扱いますが、こういった問題は海外であっても日本と共通している部分、関連している事柄があります。また教育をめぐる制度や方法においてこういった問題は意識しなければ見えてこないと考えます。そういったことから、多角的な視点で社会的包摂の問題に取り組み、学生たちとともに身近な問題に結びつけながら考えていけたらと思います。同時に海外の様々な制度・実践を知ることで、そういった営みを支える文化や風土にふれる機会を創っていききたいと思います。



① 渡辺 雅幸 (講師)

② 比較教育学、教育制度学。特にインドの教育制度に関する研究

③ 教職入門、子ども教育学概論、教育行政・制度論など

④ 滋賀県での生活にも慣れ、学生たちと一緒に充実した日々を過ごさせていただいております。私の専門分野は「比較教育学」というもので、各国の教育制度などを比較検討することによって、教育のあり方を再考したり、異文化理解を深めたりすることを目的としております。今後はそうした自分の得意分野を活かすことで、たとえば、本学の建学の精神でもある「国際的視野」に立った人材育成にさらなる貢献をしていきたいと考えております。まだまだ未熟者ではございますが、引き続きどうぞよろしくお願いたします。



深田 直宏准教授(子ども学科)、川口 諒助教(スポーツ教育学科)が学校体育元氣アップ事業に取り組んでいます。

小学5年生、中学2年生を対象にした平成30年度全国体力・運動能力運動習慣等調査結果では、「体育・保健体育の授業が楽しい」と答えた滋賀県の児童生徒の割合が、小学校、中学校ともに全国平均に比べて低い傾向にあります。

そこで、体育授業の充実や改善に関わる支援を目的に、今年度から本事業を実施しています。学校・学年単位はもちろん、個人の先生での申し込みも可能です。(詳細はお問い合わせください。)

## 教育福祉学部スポーツ教育学科 ● ①氏名・職名 ②研究分野 ③主な担当科目 ④自己PR

### ①村山 勤治 (学科長・教授)

- ②体育学、武道論、剣道
- ③武道論、スポーツコーチング論、剣道
- ④スポーツに興味関心を持っている学生に対して、日本の伝統文化である武道の素晴らしさ、スポーツをささえたり教えたりできる楽しさを理解してもらえる教材研究や教育活動を通して、健全な心と身体を兼ね備え、これからの厳しい社会環境の中で、教育、福祉に貢献できる人材の育成に尽力したいと思います。また、向上心を持って、勉学にスポーツに全力で取り組んで欲しいと願っています。



### ①黒田 吉孝 (教授)

- ②知的な遅れや自閉症等の発達障害の心理学
- ③発達障害と教育課程、知的障害者の心理、特別支援教育総論
- ④本学は、教育と福祉の看板をあげているので、まず、教育と福祉をしっかり学び、その学びに自信をもった学生を育てること、例え、教育と福祉の専門領域を仕事として選択しなくても、そのマインドを身につけて自分の特性としていかしていく学生を育てることが大切と考えます。大学の社会貢献も他大学と異なる特色をもち、他大学と連携し、本学ならではの地域貢献を目指して欲しいと思います。



### ①小西 喜朗 (教授) 新任

- ②特別支援教育
- ③言語療法演習、発達障害と教育課程、特別支援保育論、インクルージョン教育論
- ④特別支援教育が実施され十数年が経ちました。その間、障害者権利条約に関連する国内法が整備されてきました。「共生社会」「合理的配慮」「インクルーシブ教育」「生涯を通じた支援」等について教育現場でできることを先生たちと一緒に考え取り組みながら、実践を科学していきたいと思っています。また数年来、学齢期の先生たちと応用行動分析を中心に支援全般にわたる事例研究会を草津・甲賀で定期的に行っています。



### ①和田 充弘 (准教授) 新任

- ②日本教育史、日本文化史
- ③教育学概論、教職概論、道徳教育指導論 他
- ④近江聖人として慕われた中江藤樹の著作には、特定の門人に対しての、オリジナルな教材として作成されたものが含まれています。まさしく教育が先行し、その中から学問・研究との一致がはかれるべきでしょう。「学生を大切にすること」を恩師の姿から学びました。観世流謡曲・仕舞のお稽古からは遠ざかり気味で、文楽の見聞きを皆勤している程度です。自由と自治を重んじる堺市の出身であり、町人学者という言葉に惹かれます。近世京都の往来物作者、中村三近子について調べてきました。出身地の寺子屋や教科書の史料調査も継続中です。



### ①後藤 真吾 (講師)

- ②特別支援教育、ことばときこえ、臨床発達心理学
- ③特別支援教育
- ④療育教室や保育園、幼稚園の先生方、他の専門職の先生方と、ちょっと気になる子どもたちについての研究会を定期的・継続的に行っています。また、言語聴覚士として滋賀言語聴覚士会のネットワークを利用した「ことばときこえ」に関する相談も行っています。



### ①祐末 ひとみ (講師)

- ②スポーツマネジメント、地域スポーツ、クラブマネジメント
- ③地域スポーツ実践論/計画論、スポーツマネジメント
- ④私の対象フィールドは、誰にでもある地域を拠点としています。いかにスポーツが日常化していくか、さらに人々のスポーツに対する捉え方、関わり方をどう広げていくかを中心に実践を通して研究を進めています。大学教員として2年目となり、ともに学び、実践していくゼミ活動も少しずつ形になり始めてきました。学生とともに考え、悩み、実践活動を通して大学での学びを地域へ、社会へ還元していけるように尽力できればと思います。さらに、将来的に地域スポーツに携わる人材育成に繋がる環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。



### ①竹内 早耶香 (講師)

- ②スポーツ心理学、メンタルトレーニング、水泳
- ③スポーツ心理学、メンタルトレーニング論、水泳
- ④スポーツにおけるこころからだのつながりに関心があり、スポーツに関わる方々の心理サポート(主にメンタルトレーニング)について実践・研究しています。主に、青年期(高校生、大学生)アスリートのサポートを行っています。



### ①川口 諒 (助教)

- ②体育科教育学、教師教育学、サッカー
- ③中等教科教育法保健体育Ⅰ・Ⅲ、サッカーA・B
- ④私の研究分野である、どのようによい体育授業を行っていくか、どのように教師として成長していくのかについて授業やゼミなどを通して学生と一緒に考えていきたいと思っています。そして、地域の先生や子どもたち、住民の方々と協力していきながら、地域で子どもたちの運動・スポーツができる環境や学校体育をさらによくしていけるように尽力できればと思います。また、今年度から創部した男子サッカー部のコーチとしても活動しています。来年度から関西学生リーグに参加する予定となっており、リーグ参戦に向けて学生とともに一生懸命頑張っていきます。



## いきいきコミスポBGUキッズ いろいろな運動遊びで楽しく元気に体を動かそう!

スポーツ教育学科3年生ゼミでは、小学生(2~4年生)を対象にした運動遊びのプログラムを布引体育館で実施しています。鬼ごっこ、障害物走、転がしドッジゲーム等、子ども達が楽しく取り組める内容をゼミ単位で企画・実践します。

今年度は、9月29日(日)~12月1日(日)の全7回のプログラム。募集定員40名のところ、定員を大幅に超える申し込みをいただきました。子ども達が少しでも楽しんでくれるよう、学生達も頑張っています



前年度プログラムの様子

①丸山 俊明 (学科長・教授)

- ②日本史、日本都市史、日本建築史
- ③地域政策入門、くらしと防災、住居学概論・演習
- ④短期大学部ライフデザイン学科長の丸山俊明です。3コースの学生ニーズにこたえる事を心がけながら、キャリアデザインコース教授として学生指導にあたり、成果としてキャリア・介護福祉の学生が滋賀6大学アイデアコンテストでグランプリ(知事賞)を受賞いたしました。研究成果では、今年9月に『京は大火!大地震!!～そのとき京人は、どうふるまったのか～』を本学図書出版専門委員会から出版。京都のFMラジオから出演依頼をうけるなど反響をいただいております。これからも本学のために頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



①長嶺 共全 (教授)

- ②物理学・情報学
- ③パソコン活用Ⅰ・Ⅱ、情報処理論
- ④現在、世の中に存在する複雑な形状やランダムな数値データなどに潜在する統計的特徴を見出す研究に従事しております。最近では、日本に数多くある苗字が作り出す様々な分布などに興味があり、研究対象としております。また、今流行りの人工知能(AI)にも興味を持ち始めています。



①松本 行弘 (教授)

- ②臨床心理学、心理臨床学
- ③臨床心理学、発達心理学、精神保健学、認知症の理解Ⅰなど
- ④宮崎駿のアニメーションに関心があり、現在、国際アンデルセン賞を受賞した角野栄子原作の『魔女の宅急便』を分析研究しています。一方、臨床実践では引きこもり相談や思春期相談など、カウンセリングや相談活動を行っています。また、支援者・援助者の育成、スーパービジョンやコンサルテーションなど地域援助に係っています。授業では、DVDなどを使って映画や芸能など(映像)表現を分析することで、人に対する新しい視点を提示し幅広い人間形成に役立つことを目指しています。



①榎本 恵理 (准教授)

- ②教育史、国語教育、教育思想、幼児教育
- ③教育原理、保育・教職論、教科教育法国語、特別活動論など
- ④人間関係が昔と比べ希薄になっていることから、人と人がどのようにつながりあえるかを江戸時代の教育(特に本居宣長)に焦点をあてて研究をして参りました。近年は、声に注目し、幼児期からの言葉の教育をどのようにしていくのが望ましいかを伝承遊びなどを素材に研究を進めています。AI化が進む世の中ですが、コミュニケーションをとりながら意思疎通をはかり、暮らしやすい世の中になるよう願っています。よろしくお願い致します。



①山 和美 (准教授)

- ②社会福祉学、介護福祉学
- ③生活支援技術演習、介護過程、介護総合演習、訪問介護・介護施設実習 等
- ④今年も学生と共に地域の活動に参加したいと思っています。特にゼミの学生数人は、実習を縁に「こども食堂」への参加をしています。実施主体は特別養護老人ホームと養護老人ホームで、お年寄り子ども達が一緒にゲームをしたり、晩飯を食べたりしています。先日はゼミの学生が、子ども達に手洗いの方法を教えていました。インフルエンザがそろそろ流行する時期なので手洗い・うがいをしっかり行い感染症の予防をしたいと思ひます。



①杉本 栄子 (講師)

- ②保育、幼児教育
- ③保育原理総論、子どもと言葉、幼児造形、保育実習、教育実習 他
- ④授業の中で、乳幼児期子どもたちに親しまれる手遊び・絵描き歌・パネルシアター・絵手紙制作・絵本の読み語り等に取り組んでいます。その実践の場として、学生とともに附属こども園あつぷるに出向し、園児と一緒に楽しいひとときを過ごしています。今後も保育研究を深め、保育者養成に励んでまいります。



①高橋 容子 (講師)

- ②幼児教育全般、人間関係、幼児造形
- ③子ども人間関係、子どもと遊び、保育教育課程論、幼児造形、PBL演習
- ④●好きな言葉:「苦あれば楽あり」毎日の生活や職場で様々な出来事に出くわしますが、大変な後は必ず嬉しい出来事に繋がっていくと信じ、「今日も有難う」の気持ちをもって、明日を迎えることにしています。多くの人やものとの関わり自分らしい人生を送らせてもらう中で、常に笑顔と温かい言葉かけで接し、人との繋がりを積み重ね今後も自分磨きに努めていきます。  
●好きな花:春⇒人の出会いと愛らしさを感じるチューリップ/夏⇒ギリギリ太陽に向かう情熱のヒマワリ/秋⇒風に揺られてなびき、優しさが伝わるコスモス/冬⇒香りがよく心地よさが伝えてくれるスイセン。一輪の花は人の心を和ませ癒してくれます。



①竹下 則子 (講師)

- ②音楽教育、音楽療法、リトミック
- ③教科教育法音楽、保育内容音楽表現、幼児音楽、ピアノ講座
- ④小学校で教鞭をとりながら、子育て支援センター、保育施設、医療施設、社会福祉施設、刑務所、拘留所、カンボジアの孤児院などで、演奏活動や音楽療法的活動を行ってまいりました。多くの音楽を通して多くの人々と出会い、世界中のどのような環境にあっても、どのような人に対しても音楽は平等にあたえられていることを学びました。時に音楽は心を励まし、癒し、潤し、喜びや楽しさなどを与えてくれます。これからも様々な音楽を研究し、音楽を通して皆様のお役にたてるよう努力していきたいと考えています。



①山ノ井 勉 (講師)

- ②社会福祉学、介護福祉学
- ③介護の基本、介護過程ほか
- ④いつもお世話になっております。専門領域は「社会福祉学」「介護福祉学」です。主に介護福祉コースを中心に短期大学の授業を担当しています。介護福祉は現代社会の課題である「老後の幸せ」や「自分らしさ」を探求する専門領域です。僕も慌ただしい日々の中で学生とともに成長できるよう「自分らしさ」を探求していきたいと思ひます。また、時間がある時などは地域の卓球クラブで中学生とボールを打ったり、ジョギングなどをして楽しんでます。



①吉原 真紀 (講師)

- ②介護福祉・看護
- ③医療的ケアⅠ・Ⅱ、こころとからだのしくみの基礎B、障害の理解Ⅱ、介護の基本Ⅲ など
- ④昨年度は介護福祉コースの学生から希望者を募り、アロマセラピー1級合格をめざし講座を開講しました。おかげさまで5名の合格者が出ました。卒業後はアロマを活用したケアで、利用者さんの癒しとされるようにと願っています。今年度も希望者を募り、講座を開きます。皆様も生活の中にアロマを取り入れてみませんか?



## 教員免許状更新講習

第9回目となる本学の教員免許状更新講習は8月5日（月）を初日に8月23日（金）までの間の10日間をかけて必修4講座、選択必修4講座、選択22講座を開催、県内外から都合2,300名を超える先生方に受講いただき、9月下旬、修了・履修認定を行いました。講習終了時にお寄せいただいた評価やご意見、ご提言をしっかりと受け止め、次年度に向け、より良い講習の準備に努めてまいります。

講座区分	開設講座	実施日	受講者数
必修	4講座	8月…9・22日	478名
選択必修	4講座	8月…5・21日	486名
選択	22講座	8月…6・8・12・16・19・23日	1,360名

## 幼稚園教諭免許取得特例講座・保育士資格取得特例講座

認定こども園法の改正により、2015年4月より「幼保連携型認定こども園」が創設され、幼稚園教諭免許及び保育士資格の両方を持つ「保育教諭」の配置が原則化されました。

これに伴い、保育士資格を持たない幼稚園教諭と幼稚園教諭免許を持たない保育士の方を対象として、資格・免許を取得するための必要単位が軽減される特例措置が設けられました。本学では、この特例措置に対応する講座として今年度で第4回（年）目となる、「幼稚園教諭免許取得特例講座（2科目）」、「保育士資格取得特例講座（2科目）」を開講（一部予定）し、それぞれ71名、31名の方に受講いただきました。

### 【幼稚園教諭免許取得特例講習】

授業科目（○…単位数）	実施日
教職入門②	11月…23・24・30日、12月1日
保育内容指導法・教育方法②	6月…22・23・29・30日

### 【保育士資格特例講習】

授業科目	実施日
子ども家庭支援論・子育て支援	6月…22・23・29・30日
乳児保育Ⅰ・乳児保育Ⅱ	11月…23・24・30日、12月1日

## 教育職員免許法認定講習

文部科学省の「特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業」の委託を受け、特別支援学校教諭免許状の取得（上進）支援、併せてその資質の保持と向上を図ることを目的として、2015年度より教育職員免許法認定講習を開設、2019年度も8月に3講座、12月に2講座を開設（予定）、延べ330名の先生方を受け入れ、研修の場として活用いただきました。

また、今年度は新たに文部科学省の「幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業」の委託を受け、幼稚園教諭二種免許状を同一種免許状に上進するための認定講習を11月から1月にかけて4科目の開催を予定しています。（詳細は大学ホームページにてご確認ください。）

### 【特別支援学校教諭免許】

開設科目名	中心となる領域	単位数	実施日
聴覚障害者教育課程・指導法（H31認定講習）	聴	1	8月…10・11日
発達障害と教育課程（H31認定講習）	重複・LD等	1	8月…17・18日
肢体不自由者教育総論（H31認定講習）	肢	1	8月…24・25日
視覚障害者教育課程・指導法（H31認定講習）	視	1	12月…21・22日
病弱者教育総論（H31認定講習）	病	1	12月…25・26日

### 【幼稚園教諭免許】

開設科目名	区分	単位数	実施日
特別支援教育入門（H31認定講習）	教職	1	11月30日・12月1日
人権教育（H31認定講習）	大学独自科目	1	12月…21・22日
幼児と健康（H31認定講習）	教科（健康）	1	12月…25・26日
幼児理解の理論と方法（H31認定講習）	教職	1	1月…25・26日

各種講習関連ホームページ：<https://www.biwakogakuin.ac.jp/community>

問い合わせ：外部連携研究支援課 電話：0748-35-0005（直通） メール：ex-link@newton.ac.jp

## 介護福祉コースの名称を変更します

介護福祉士  
受験資格

健康管理士  
一般指導員  
受験資格

社会福祉  
主事  
任用資格

### 2020年4月 介護福祉コースが 健康福祉コースに名称変更予定

2020年4月に名称変更する「健康福祉コース」では、美容化粧品や健康食品業界にニーズの高い健康管理士一般指導員の在学中取得をめざすことが可能となります。(予定)

滋賀県で最も長い歴史をもつ介護福祉士養成校として、1,300人以上の介護福祉士を育ててきた本学。現場経験の豊富な教員が、福祉施設で実際に使われている最新設備を用いて演習を行うため、即戦力となる支援技術を習得することができます。また、介護や医療の分野に加え、健康管理についても学ぶことで、広い視野と高い専門性を兼ね備えた介護福祉士をめざすことができ、今後ますます重要性が増していく福祉の現場で活躍できる人材を育成します。

## アイデアコンテストでグランプリ！

### ライフデザイン学科「ちーむ・びわたん」が グランプリ（県知事賞）を受賞



9月6日（金）、大学生が地域課題の解決と研究成果の事業化を目指す「大学生によるアイデアコンテスト」が彦根市で行われました。滋賀県立大など県内6大学から11組が出場。本学から出場した短大部の「ちーむ・びわたん」が「めしませ・近江の姫むすび」でグランプリ（県知事賞）を受賞！介護福祉コースの古武莉奈さんと松本捺季さんを中心に、近江八幡市の郷土資料館や文化観光課様、JAきてかーな様のご協力で行った仮イベントが評価されました。

当日の発表者はキャリアデザインコースの以下4名です。

2年生…米澤 風花さん、山本 天音さん、  
1年生…山本 美怜さん、辻本 真歩さん

## カヌーマラソン世界選手権日本代表！



### 2019カヌーマラソン世界選手権大会の日 本代表選手として本学学生が出場

2019年10月15日～20日に中国・紹興で開催される2019カヌーマラソン世界選手権大会に、教育福祉学部スポーツ教育学科1年生 押谷 亮さんが日本代表として出場予定です。

八幡商業高等学校3年次の2018全日本長良川ジュニアカヌー長距離選手権大会で優勝し、日本代表入り。大学入学後も毎日、厳しい練習メニューをこなし、大会に備えています。

14名の日本代表選手の内、滋賀県協会所属選手が3名。カヌーマラソンはオリンピック種目ではなく、発展途上の種目ですが、押谷選手をはじめ地元選手の活躍にも注目です。

## 新刊紹介

### 京は大火！大地震！！ そのとき京人は、どうふるまったのか



江戸時代の京都や近江でおきた災害と、そのときの人々の様子を、歴史小説風の文章と多くのイラストで記している。修羅場の中にも人情と不思議が入りまじる108話を、古文書から取りだしてわかりやすい文章におきかえ、掲載している。

著者／丸山 俊明 発行／2019年9月 頁数／201頁  
発行／びわこ学院大学出版専門委員会

## 保護者説明会のご案内

### 保護者の皆さまを対象とした 学修指導および進路・就職支援等に関する 説明会の開催について

日時：2019(令和元)年11月3日(日・祝) 午前10時～

会場：本学 2207(特別)講義室

備考：詳細は対象の方に送付しております案内文書にてご確認ください。

# 第30回大学祭

2019.11.3(日・祝日)

## もみじがさい 紅葉賀祭

テーマ “一新紀元”  
~BGU学祭 NO.00~<sup>レイブ</sup>

★お笑いライブ 12:00 ~ 12:45

詳細はホームページでご確認ください。

★びわ学花火大会 17:30スタート(予定)

晩秋の蒲生野の夜空を彩る連発花火



びわこ学院大学  
びわこ学院大学短期大学部

※写真はイメージです。

## 秋の OPEN CAMPUS

11/23 祝日 土  
13:00 ~ 16:30

### イベント内容(予定)

- 大学短大概要説明
- 入試対策講座
- 体験講座
- キャンパスツアー
- 個別相談
- 保護者向け説明 ほか

後援：一般社団法人 滋賀県保育協議会

## 幼稚園教諭 ・保育士の仕事 まるわかりイベント

仕事の魅力  
発見!

12/14 土

10:00 ~ 14:30 学食無料体験実施

予約制



事前予約フォーム

### イベント内容(予定)

#### 業界と学びについて

幼稚園教諭・保育士の仕事内容、免許・資格取得、実習、大学と短大の違い、など詳しく説明します。

#### 卒業生トークショー

現在活躍している先輩が、「仕事のやりがい」や、「大変なこと」、「嬉しかったこと」など生トーク。

#### 在学生発表 実習報告発表・ベースサポート発表

子ども園見学・キャンパス見学 ほか



3/20 祝日 金  
13:00 ~ 16:30

### イベント内容(予定)

- 大学短大概要説明
- 体験授業
- 学生生活紹介
- キャンパスツアー
- 保護者向け説明
- 個別相談

## 大学をもっと近くに

びわこ学院大学は、SNSを利用し、多くの情報を学内外へと発信し「開かれた大学」をめざします。

SNSで大学を知る



動画で大学を観る



小さな大学で 大きく学ぶ



びわこ学院大学  
びわこ学院大学 短期大学部

〒527-8533 滋賀県東近江市布施町 29

TEL 0748-35-0006 (入学センター) TEL 0748-22-3388 (代表)